

講演会の感想

- ・ 分かりやすく聞くことが出来ました。これからは賢い患者になりたいと思います。
- ・ わかりやすいお話でした。
- ・ “コミュニケーション能力”とは人が生まれてから成長する過程で身につけているものだと思ってました。単純な日常生活の中では、話し合いで伝達することが出来ますが、今回のテーマは医療と患者のコミュニケーション能力ということで、成長してからこそ最も身につけたい技術だと思いました。今までは言われるがまま、医師は忙しくて話しにくいとイメージが強かったが、医者にかかる 10 カ条をもとに、コミュニケーションをとり、家族や自分自身の健康管理をしていきたいと思いました。
- ・ 今日の話仕事を役に立てたいと思っています。
- ・ 自分の身体を守るためにも、医療側から提示される治療方針や計画をただ単に受身の姿勢をとるのではなく、自身も病気について知ろうとする姿勢・協力が必要であるということがわかりました。
- ・ 患者側の心構えのポイントについての話があり、大変参考になりました。
- ・ 自分のコミュニケーション能力がまだまだ不足しているなと思いました。自分のいいところ悪いところを再認識し、改善していこうと思います。また、講演会があれば是非参加したいです。
病院探検隊を是非うちの病院もしてもらおうといいかなと思いました。
- ・ 情報の共有化。患者から医療者への情報提供を行うことでより良い医療を得られるかということを感じます。
- ・ 看護師をしています。医療を受ける側へのインフォームドコンセントの大切さを改めて感じました。
私も今日の講演会で学んだことを活かせたらと思います。
- ・ “ポジティブフィードバックのすすめ”自分なりにがんばっていきたいと思います。
- ・ 医療者として患者様と上手くコミュニケーションがとれないことが多かったので大変参考になった。
- ・ 新しい視点で大変有意義だった。
- ・ 私達にわかりやすい講演でした。とても勉強になりました。(普通聞けない話でした。)話し方、説明などすごくよかった。
- ・ 市民公開講座は、市民が参加しやすい形で行って欲しい。
今回山口先生のお話はとても理解しやすかった。受診する時の心構えを習得できたと思います。
医療従事者としてコミュニケーションの大切さを再認識しました。
- ・ 医療者側・患者側共に勉強になりました。

- 山口さんのわかりやすく、まとめられた講演会でした。
- 山口さんの講演を聞いて、生活であったり、生きていく中で役になること、自分がこれからプラスになる話が聞けて、とても良かったです。
求めるだけではなく、考えて、受け止め、医療側の方の負担を少しでも減らす事が出来る、協力していけるのではないかと理解することが出来ました。ありがとうございました。
- 講師が起立のままお話くださって、頭が下がる思いでした。患者の心を代弁していただいた思いでした。
- 勉強になりました。詳しい説明で、これからの自分に役立つかと思います。ありがとうございました。
- 健康である人は少し難しかったような気がします。やはり自分が病気になって苦しめば、真剣に考えるように思います。「医者にかかる 10 箇条」の小冊子、大切にして実践したいと思います。
- メモをしてから受診に挑むという基本的な姿勢等教えてもらい役に立った。
医者と患者が対等に対話できる日がくることを期待しています。
- 患者側からの目線で医療について講演を聞く機会は意外に少ないので、とても勉強になりました。
- 医者として働いてまだ 1 年であり、患者さんに何を求めてよいのか迷うことが多々あります。患者さんそれぞれ違うことでもあり、主に働く場が救急外来である自分は、さらに分かりにくいことが多いです。
- 病院に勤務している自分にとって、患者様からの苦情や意見が全く同じお話がされた事に、自分達だけの病院だけでなく、どこの病院でも同じような事があるのだなぁと安心、ほっとしました。その解決方法があればと思います。
- 大変わかりやすく、今後の受診に役立てようと思います。講師の方がゆっくりとはっきりと的確に話して下さって、とても良かったと思います。受診の際の心得がよくわかりました。
- コミュニケーションの取り方をもっと考えないといけないと実感した。両方の立場から考えることができた。
- 病院の先生は患者の立場に立って本音（メモなど）を説明して欲しいと思います。それによって患者は賢くなり、一日でも長生きできるように考えていく事でしょう。